

派遣報告書

氏名：佐藤貴之

派遣先：ロシア国立人文大学大学院、人文学・歴史学研究所、現代露文学史科
(モスクワ)

派遣期間：2012年9月16日－2013年7月2日

本学指導教員：沼野恭子（大学院教授：ロシア文学）

派遣先指導教員：オレグ・レクマーノフ（Doctor of Science）

テーマ：「B. ピリニャーク創作のモダニズム」

研究の概要：「B. ピリニャーク創作のモダニズム」

B.ピリニャークは、文学者にして革命家であるL.トロツキーが命名した「革命の同伴者作家」と呼ばれる文学者集団をけん引していた、初期ソビエト文学を代表する作家である。革命後の文壇でピリニャークは頭角を現し、ロシア・モダニズムを代表するといっても過言ではない独特な創作手法が反響を呼び、「ピリニャーク主義」という用語が当時の文壇では流布し、幅広い影響力を行使した。

ただし、1930年代以降、モダニズム芸術は社会主義リアリズムの台頭とともに、「ブルジョア的」、あるいは「反動的」な芸術であるとして弾圧、その後、ピリニャークはスターリンに粛清されたこともあり、長らくソ連では文学史からその名を消されていた。日本のロシア文学研究においても、ピリニャークの存在は忘れ去られているのが現状である。こうした中、1920年代から30年代のソビエト文学を新たな視点から照射していくうえで、ピリニャークの創作研究は重要な鍵を握っているといえよう。

本研究では、十月革命以降にピリニャークが執筆した作品に見られる革命の表象を研究し、革命がピリニャークの創作に与えた影響を分析している。

研究の成果：

派遣期間中の研究成果は以下のとおりである。

学会・研究会報告

1. 発表のタイトル：M.A.ブルガーコフの戯曲に見られるソヴィエト作家の喜悲劇的表象

学会名：国際学会「20－21世紀のロシア文学における喜劇性」

開催場所：ロシア科学アカデミー附属ゴーリキー記念世界文学研究所

発表日：2012年11月13日

2. 発表のタイトル：「O.シュペングラールと 1920 年代のソヴィエト文学——『西欧の没落』の受容と解釈」

学会名：ITP-EUROPA 国際セミナー「学術の鏡に映る文化」

開催場所：ヒルデスハイム大学

発表日：2012 年 11 月 23 日

3. 発表のタイトル：日本における M.ゴーリキーの戯曲『どん底』の現代的解釈

学会名：M.ゴーリキー生誕 145 周年記念国際学術会議

開催場所：ロシア科学アカデミー附属ゴーリキー記念世界文学研究所

発表日：2013 年 3 月 25 日

4. 発表のタイトル：日本における M.ゴーリキーの戯曲『どん底』の現代的解釈

学会名：全ロシア・ゴーリキー学会「M.ゴーリキーと現代：文化的空間の統合」

開催場所：カザニ国立文化・芸術大学

発表日：2013 年 3 月 28 日

5. 発表のタイトル：初期ソヴィエト文学における M.A.ブルガーコフと B.A.ピリニャークの創作上の共鳴：『裸の年』と『ハンの炎』

学会名：ロシア国立人文大学大学院国際研究会

開催場所：ロシア国立人文大学

発表日：2013 年 5 月 22 日

上記の研究報告にくわえ、派遣期間中に執筆し、派遣終了後に報告した論文は以下の通りである。

6. 発表のタイトル：ブリヤート文学における日本とロシアの文化的統合：境界の詩人 N.ニンブーエフ

学会名：日本スラヴ人文学会

開催場所：東京外国語大学

発表日：2013 年 7 月 20 日

次に提出した論文を列挙する。いずれも出版準備中である。

提出論文

1. M.A.ブルガーコフの戯曲に見られるソヴィエト作家の喜悲劇的表象
2. O.シュペングラールと 1920 年代のソヴィエト文学——『西欧の没落』の受容と解釈
3. 日本における M.ゴーリキーの戯曲『どん底』の現代的解釈
4. ゴーリキーとピリニャークの論争：「二つの精神」と『日本印象記』
5. 初期ソヴィエト文学における M.A.ブルガーコフと B.A.ピリニャークの創作上の共鳴：『裸の年』と『ハンの炎』

今後の課題：

これまでの作業で、博士論文の章立てはほぼ執筆されたことになる。最終章に当たる研究は、2013年9月に本学がモスクワで開催する学術会議で拙論「ピリニャークの敗北、あるいは革命の終わり」として報告する予定である。まずは今後の急務として、この論文を完成しなくてはならない。その後は、これまで執筆してきた論文を博士論文として再構成し、ロシア国立人文大学に提出することを最重要課題とする。

最後になるが、今回の派遣に伴い、日ごろより御指導、御協力下さった ITP 委員会や国際協力係の皆様、ならびに指導教員の沼野恭子教授、オレグ・レクマーノフ教授には心からの謝意を表したい。